

目次

概要

[どのように ESA のバウンスの拒否からバウンス確認を停止しますか。](#)

概要

この資料に ESA のバウンスの拒否からバウンス確認を停止する方法を記述されています。

ESA のバウンスの拒否からバウンス確認を停止する方法

バウンスの拒否からアプライアンスを停止する最も簡単な方法はデフォルトの動作をグローバルに変更することです。

1. メール ポリシーの下-> バウンス確認 > Edit 設定。
2. 処理を時カスタム ヘッダーを付加し、渡すためにリジェクトから届く無効 なバウンス メッセージ変更して下さい。
3. 顧客 ヘッダおよびコンテンツの名前を追加して下さい。
4. 変更を入れ、保存して下さい。

LDAP クエリを使用している場合、宛先制御およびメール フロー ポリシーでそれをディセーブルにすることによってバウンス確認をディセーブルにする必要があります。

1. メール ポリシー > 宛先制御の下で、バウンス確認を有効に してもらうポリシーかデフォルトポリシーを選択して下さい。
2. 設定をタグ付けする実行アドレスをにいいえ変更して下さい
3. メール ポリシー > メール フロー ポリシーの下で、セットはタグが付いていないバウンスを受け入れるか、またはメール フロー ポリシーすべてのための YES にタグが付いていないバウンスを評価します。
4. 変更を入れ、保存して下さい。